

取組名：学校現場体験活動×AI活用による神奈川県との連携教員養成プログラム

神奈川県の課題：

1. 教職員の資質・能力の向上

2. インクルーシブ教育の推進

3. 生成AIによる改革

4. 教員のなり手不足

目的：

地域教員希望枠を活用し、神奈川県が抱える様々地域課題に対応できる質の高い教員養成を神奈川県教育委員会との連携により目指す。
具体的には、入学前の高校3年間から地域課題を捉える内容を含んだ「教職科目」を学び、入学後、地元での学校現場体験活動を実施しながら理論と実践の往還を繰り返すことで実践力を向上させる。さらに「AI授業改善システム」を活用し、理論と実践の効果を高め、模擬授業等の質を高めることにより、神奈川県の求める教員の養成を目指す。

高等学校

入試

大学で理論を学び

学校で実践する

採用試験

教育現場



神奈川県立高等学校

高校1年次から3年間
教職コースを設置！

教員を目指す生徒を
支援する取組として、
「教職について学ぶ科目」
実施校を1校から3校へ
拡充(令和9年度より)

New!
「教職基礎Ⅰ」
「教職基礎Ⅱ」
開講

大学から講師を派遣し、講義・ワークショップ等の連携を実施。神奈川県の教育課題への理解を深め、教師を志す意欲を向上させ、大学の教員養成へ繋げる。

地域教員
希望枠
新設

神奈川県からの
進学者が最多。
例年100名前後
多数の入学者。
さらに近年増加
傾向の状況。



神奈川県の求める教師像としての3本の矢

人格的資質・情熱

・理論と実践の往還による実践的指導力の養成

課題解決力

・伴走者としてAIを活用した課題解決力の養成

授業力

・AI講師による授業改善システムの活用

1年次から4年次まで必修で学校現場を体験するカリキュラム

1年次

学校体験
活動A

参観実習含む
30時間の活動

教職概論

2年次

介護等体験

インクルーシブ教育
を現場で学ぶ

小・中学校の特別
支援学級で
60時間の活動

特別支援教育

3年次

学校体験
活動B

実践的指導力育
成のための
30時間の活動

教育課程編成論

4年次

教育実習

New!
「教職演習」
(かながわ教育ビジョン)
開講

連続2週間実習
による実践的指
導力の総仕上げ

教職実践演習

「理論と実践の往還」により現在の教育に触れ、理論を学ぶことによる実践力向上！

7年間（高校3年間＋大学4年間）をかけて高校と大学が一体となった教職カリキュラムを構築！

New! 理論と実践の効果向上

『生成AI活用による改革』

①「AI大学講師」活用
論文・面接対策等

②「AI授業改善システム」

「教育実習事前指導」等の
模擬授業を録画しAI解析、
改善点の指摘により授業力
向上効果が期待される。

3年次
受験
特別枠

新設

卒業



神奈川県の抱える
地域課題に対応で
きる質の高い教員
を送り出す！
神奈川県で求めら
れる「人格的資
質・情熱」「課題
解決力」「授業力
」を兼ね備えた、
質の高い教員とし
て現場へ！

教員のなり手
不足へのアプ
ローチとして
→地域教員希
望枠で入学し
た学生対象に
3年次受験の特
別枠を新設

「教職演習」(かながわ教育ビジョン)とは
・教育委員会と大学の相互連携科目
神奈川県教育委員会が大学と連携して開設
する「教職基礎」科目内容に神奈川県の抱え
る教育課題解決に伴う内容を組み込む。